

金融機関のデジタル革新を加速する デジタルバンキング特集に寄せて



富士通株式会社
社会インフラビジネスグループ長
執行役員常務

林 恒雄

デジタル技術は、想像を超えるスピードで現実の世界を変えています。かつてないほどに人やモノがつながり、グローバルに統合されています。あらゆるモノがネットワークでつながり、複雑化していく中で、従来の社会を支えてきた仕組みが大きく揺らいでいます。ガバナンスのプロセスは進化を続ける技術革新についていけず、データ量は制御不能なまでに増大を続けています。

デジタル化が加速し、社会のニーズも高度化して異業種の参入が激化する昨今、金融業務のデジタル革新への期待はかつてなく高まっています。金融機関は、AI（人工知能）に代表される最新鋭のテクノロジーを活用し、お客様のライフステージに応じた金融サービスをタイムリーに提供していくことが求められています。

Fintechの分野においてビジネスを成功させるためには、金融機関と、ICTを提供する富士通が未来を共創し、社会のニーズに応える金融サービスのオープンイノベーションを加速させることが最も重要です。富士通は、長年国内外の様々な業界のお客様に寄り添い、豊富な業種ノウハウと経験、知見を蓄積してきました。その知見とエンジニアの総力を結集し、Fintechに新しい価値を創出することで、組織や業界の枠を超えて金融機関と社会のビジネスイノベーションに貢献してまいります。

近年、「効率性」と「創造性」の両面を追求する「2階建てのイノベーション経営」が脚光を浴びています。富士通にとっても、お客様のコアビジネスを支える1階が土台であることは変わりません。その上で、お客様へデジタル変革の道筋を示し、新たな価値を創造する2階こそ、富士通の真の強みだと自負しております。

本特集号では、金融機関のデジタル変革の実現に向けて、富士通の金融ソリューション体系「Finplex」が提供する製品群、および最先端のテクノロジーをご紹介します。併せて、富士通が考える「デジタルバンキング」の方向性についても触れておりますので、是非ご一読をお願い申し上げます。

今後、金融機関のデジタル変革は更に加速します。富士通は、今後も金融機関の持続的な成長をもたらす新たな価値の創出を牽引してまいります。